

！ オーバードーズ (OD) とは？

■市販薬等を決められた用量を超えて摂取することです。過量服薬を繰り返すうちに、量や回数が増えます。吐き気や嘔吐のほか、不整脈や意識障害、頭痛などが起こり、死亡するケースもあります。薬は医師や薬剤師、登録販売者の指示に従い、用法・用量を守って服用しましょう。



！ 薬物に手を出さないためには？

■大麻をはじめとした薬物は、子どもたちに一層身近なものとなりつつあります。日本において、2023年中に大麻事犯で検挙された20歳未満の数は、初めて1,000人を超え、2018年の約3倍にも上っています。

SNSの甘いワナに気を付けよう！

■薬物に関して、SNS上で「大麻は自然のものだから無害」「1回だけなら大丈夫」「依存性がないものもある」などといった情報が見られますが、これらはすべてウソです。SNS上で、薬物の隠語を使い、購入を勧める投稿が後を絶ちません。売人と接触すること自体が危険な行為です。絶対に手を出してはいけません。



友人などから誘われたら？

■学校の先輩や友人などから薬物の使用を勧められたら、あなたならどうしますか？あなたの一生を左右する問題です。「興味がないし、いらない」「僕(私)はやらない」などときっぱり断る勇気を持ちましょう。はっきりと断ることができない場合は、話題を変える、あるいは「これから用事がある」「体質が受けつけない」などと口実を作り、その場から離れるようにしましょう。



薬物の売買に加担させられないために

■近年、SNSが悪用されています。いわゆる「闇バイト」の「荷物を運ぶだけで報酬」にひかれて応募し、事情を知らずに薬物を運ばされたり、海外留学を終え帰国の際、現地の知人から「日本にいる〇〇に渡してほしい」などと言われ物を預けられた結果、「運び屋」として利用されてしまったりすることがあります。「運ぶだけで報酬」などという甘い話はありませぬ。また、海外留学に際し、不用意に他人から「荷物」や「お土産」を預からないようにしましょう。



身近に潜む危険

■2023年11月、東京都内のお祭り会場で、来場した男が配った大麻入りグミを食べた男女5人が吐き気などの体調不良を訴え、病院に救急搬送された事案が発生しています。大麻は、グミのほか、キャンディーやチョコレートなどに混ぜられて出回っているものもあるので注意が必要です。
■2024年9月、大阪府内の友人宅で、女子高校生が大量のせき止め薬を飲み、急性薬物中毒で死亡する事案も発生しています。



！ 薬物から子どもたちを守るためには？

■大人が薬物について危険性を正しく知りましょう。
■子どもたちとのコミュニケーションを普段から大切に、子どもたちが今何を考え、何に興味を持っているのかを知ることが大切です。皆さんの手で、子どもたちを薬物から守りましょう。



「安全・安心の街に」YOC 読売センターは地域の防犯活動を推進しています

こども110番 YOCは「こども110番の店」として活動しています	不審者注意 配達・集金の際、不審者に注意します	防犯情報発信 警察署の協力を得て防犯チラシ等を配布します	見守り活動 配達・集金とは別に町内を見守ります	薬物とは？ 学校や地域でのセーフティ教室開催のお手伝い
---	---------------------------------------	--	---------------------------------------	---

YOC あなたの街の読売センターからお届けしています

読売 **中高生** 新聞

■毎週金曜日発行
■タブロイド判/24ページ
■オールカラー
■特別協力/小売店

詳しくはホームページで >>> 読売中高生新聞 >>> 検索



発行/全国読売防犯協会
〒100-8055 東京都千代田区大手町1-7-1
読売新聞東京本社販売局 販売企画調査部内
TEL.03-3216-9024
24111591M

薬物 手を出さないで! Don't dabble in drugs



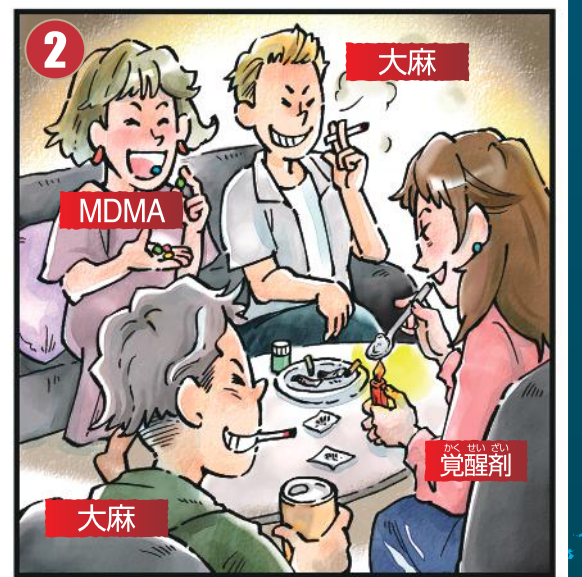
発行/全国読売防犯協会 協力/警察庁、日本薬物対策協会

広く普及しているSNSを通じて近年、薬物がより簡単に入手できるようになっています。薬物は、依存性が高く1回手を出すとやめられなくなり、自分の人生を台無しにしてしまうだけでなく、周りの人々を苦しめることになります。絶対に手を出してはいけません。

ある日突然逮捕され、両親から縁を切られ、彼氏や友人も離れてしまい...



運転中に錯乱状態になり、取り返しのつかない事故を起こしてしまった!!



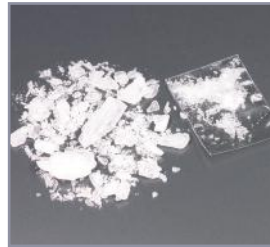
「1回だけなら」と大麻に手を出し...

これをきっかけに薬物にはまり...

YOC 読売センター (読売新聞販売店) は地域の防犯活動に取り組んでいます

かく せい ざい

覚醒剤



- 非常に作用が強く、依存性の高い人工の興奮剤です。
- 攻撃的、暴力的な行動や、精神を破壊するなどの症状を引き起こすこともあります。

隠語

スピード、S (エス)、シャブ、アイス、氷など。

コカイン



写真協力：警察庁

- 南米原産のコカの木の葉を原料とした薬物です。無色または白色の結晶状粉末で、麻薬として規制されています。
- 神経を興奮させる作用があり、乱用を続けると幻覚等の症状が表れ、大量に摂取すると呼吸困難で死亡することもあります。

隠語

コーク、クラック、スノウなど。

マジックマッシュルーム



写真協力：厚生労働省

- 毒キノコ的一种で、麻薬の成分を含み幻覚作用を起こすキノコの俗称です。
- 常用すると、覚醒剤など他の薬物の乱用につながるおそれがあります。

隠語

ホングレシトス、キノコなど。

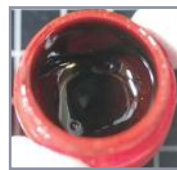
大麻 (マリファナ)



大麻リキッド



大麻クッキー



大麻ワックス
写真協力：厚生労働省

- 世界で最も多く乱用されている薬物で、ゲートウェイドラッグ(入り口となる薬物)とも言われています。
- 使用すると時間感覚や視覚、聴覚など知覚がゆがめられます。記憶力、学習能力、集中力も低下し、情緒不安定になり、思考をコントロールできなくなります。長期使用により、幻覚・妄想など精神病のような症状が表れます。



大麻草



乾燥大麻

写真協力：警察庁

隠語

ガンジャ、草、93 (くさ)、野菜、ハッパ、ポット、ウィード、グラスなど。

大麻は所持だけでなく、使用も犯罪です!



危険ドラッグ

- 幻覚・興奮作用を引き起こす化学物質が含まれ、人体に非常に有害な薬物です。摂取後に心身に及ぼす影響は全く予測不能です。
- 「アロマ」「ハーブ」「お香」「クリーナー」「合法ドラッグ」などと称して販売されていますが、死亡することもある危険な薬物です。



グミ状のもの



リキッド状のもの

写真協力：厚生労働省

MDMA

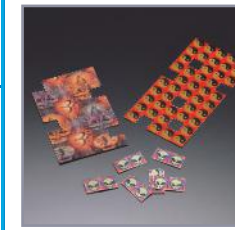


- 興奮作用があり、幻覚剤を含むこともあります。
- 抑うつや混乱、激しい不安、被害妄想など精神病のような症状に陥ります。

隠語

エクスタシー、バツ (×)、タマなど。

LSD



写真協力：厚生労働省

隠語

ペーパー、タブレット、アシッド、ドラゴンなど。

ヘロイン



写真協力：厚生労働省

- アヘンから作られた薬物で、強い鎮痛作用がある反面、すぐに高い依存性が生じます。
- 日本では医療分野も含め、一切の使用、製造等が禁止されている薬物です。

隠語

ジャンク、H (エイチ)、スマック、ホースなど。